

1 学校教育目標

- 進んで学ぶ生徒
- 心豊かな生徒
- たくましい生徒

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	<伊興中に通わせて良かった> ○保護者・地域から信頼され、「入れて良かった」、「3年間学んで良かった」と思う学校 ○「今日が楽しく、明日の登校が待ち遠しい」学校 ○一人ひとりが大切にされ、出番が保証され、自己有用感を感じる学校
○生徒像	<伊興中生でよかった> ○主体的・意欲的に学習に取り組み、確かな学力・生きる力を身につけた生徒 ○自己を活かし、何事にも希望を持って粘り強くやり抜く生徒 ○いじめを許さず、互いの良さ等を認め合い励まし合うことができる心豊かな生徒
○教師像	<伊興中の教職員でよかった> ○生徒に対する愛情に溢れ、温かく、厳しく生徒を指導・成長させる教師 ○自らの授業を常に改善し、生徒の学力定着と進路保証に全力で取り組む教師 ○常に自らを高めようとする意識を持ち、謙虚に努力を重ねる教師 ○理想の学校創りに向けて協働して取り組むことに喜びを感じる教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

現状

(1) 生徒

- ・大きな問題を起こす生徒や他校生徒との接触による問題行動がある生徒はおらず、授業には前向きな姿勢の生徒が大多数を占める。また、授業は、正常に展開されている。
- ・学力面では、区調査の平均レベル。学力不振の生徒が、各クラスに一定数いる。中1勉強合宿は、25名の生徒を対象に通所型で連携小学校と共に実施
- ・生徒会・部活動は、指導教員の尽力の下、意欲的かつ熱心に取り組まれている。特に吹奏楽部は、少人数ながら、好成績を残した。
- ・いじめの報告はあるが、すべて解決済み。重大事態になるような案件はない。他方、SNSをめぐる生徒間のトラブルは発生しているが、その都度、指導している。

(2) 教職員

- ・平均年齢は39.82歳で、30代以下の教員が大半を占める若い教員構成である。校内研究推進主任を中心に、校内研修会を年間3回実施
 「足立スタダードに基づく授業改善」をテーマに、精力的に研修を行い、各自が授業改善に努めている。

成果と課題

- (1) 成果 ; ①落ち着いた雰囲気を整然と授業が行われている。
 ②若い教員が多いが、学校全体で研修を重ねて、より良い授業を創っていかうという学校の風土ができつつある。
 ③大多数の保護者が学校に協力的で、地域も学校に支援を惜しまない地域性である。
- (2) 課題; ①学力の定着に差があり、下位層の生徒の学力を上げること。
 ②家庭学習が不足している生徒が多く、保護者・家庭との一層の連携が必要であること。
 ③不登校生徒が一定数(全校生徒の8%)おり、不登校生徒を増やさないことと共に、別室指導体制を拡充し、生徒の居場所を校内に設けること。
 ④校内研修のリーダー役の教員が異動しても研修が継続発展するような体制の構築。

4 重点的な取組事項

	内 容	実施期間 (年度) R:令和				
		R 5	R 6	R 7	R 8	R 9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	豊かな心の育成と社会的自立心の確立	○	○	○	○	○
3	教師の指導力向上と信頼される学校づくり	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1		学力向上アクションプラン							
A 今年度の成果目標		達成基準 (目標通過率)	実施結果 (通過率結果)	コメント・課題				達成度 ◎○△●	
生徒の学習意欲を高めるとともに、基礎・基本を確実に身に付けさせ、学力向上を図る。		・令和7年度区調査通過率 全学年55%以上		自己評価の際に記入					
B 目標実現に向けた取組み									
新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 (=数値) (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●

1 継続	授業改善と授業力向上	全教科・全学年を対象とする。	年に3回以上（学期に1回）	<ul style="list-style-type: none"> ・研修推進委員会を中心に、足立スタンダードに基づく授業改善をテーマにした研修会を開催する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後の教員のアンケート ・教科指導専門員の授業観察 ・生徒の学校評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・事後の教員のアンケートで、肯定的意見が80%を超える。 ・生徒アンケートで、肯定的意見が80%を超える。
2 継続	家庭学習確認テストによる放課後補充学習の実施	全学年5教科で補充を必要とする生徒	家庭学習は毎日。補充教室は木曜日。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習としてAIドリルによる問題配信を実施。（1週間で100問） 水曜日に確認テスト実施 木曜日に補充教室実施 ・週末に、その状況を確認し対象生徒を学年体制で指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員・生徒アンケート ・活用数の点検（AIドリル） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒・教員・保護者にアンケートで、肯定的意見が80%を超える。 ・AIドリルの活用月平均80%を超える。
3	朝読書	全学年朝読書	週3日月火金 8時25分～35分までの10分間	<ul style="list-style-type: none"> ・学級担任を中心に、全学年10分間の読書を行い、集中力と読解力の向上。 ・図書館司書と連携し、図書館利用率を上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・取り組みの確認 ・図書館貸出冊数調査 ・教員・生徒アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・区調査読解力に関する解答率 ・学校図書館貸出冊数を月350冊以上。 ・年度末の生徒アンケートで、肯定的意見が80%を超える。
4	ICT機器を活用し、足立スタンダードの徹底	全学年・全教科	年間を通して、日常的に	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT推進委員会と研修推進委員会との推進計画の立案と運営を行う。 ・特に、ICT機器の活用が不十分な教員を支援し、全員一人1回の研究授業の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研究授業の実施 ・教員・生徒・保護者アンケート 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が1回以上研究授業を実施する。 ・年度末の生徒アンケートで、肯定的意見が80%を超える。

自己評価の際に記入

重点的な取組事項－２		豊かな心の育成と社会的自立心の確立			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
生徒自らよりよい学校づくりに参画し、いじめのない「笑顔あふれる学校」「学校に登校するのが楽しいと思える学校」をつくる		・生徒アンケートで「伊興中の生徒でよかったと思う」と90%以上の生徒が回答する。	自己評価の際に記入		
B 目標実現に向けた取組み					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
居心地の良い、安心できる学年学級をつくる	・生徒アンケートにより、肯定的意見が80%を超える。	・WEBQUの活用、特に学年全体や学級同士での点検を行う。 ・年度当初の学年学級経営案に、心理的安全性が高い集団をつくることを明記する。	自己評価の際に記入		
人権への配慮と豊かな心の育成	・生徒アンケートにより、肯定的意見が80%を超える。 ・生徒会による取組を促す。	○道徳において人権に関する内容を教育」を年間3回。 ○校長講話で年間3回。 ○いじめアンケートとWEB QUの結果を受けて情報交換会を年間2回実施する。			
社会的自立心の確立 凡事徹底	・「挨拶する」「生徒会や委員会・係活動、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる」と生徒の90%以上が回答。	・ボランティア活動を学校として推奨し、全校でボランティア学習を行う。 ・日常的なマナー・ルールの凡事徹底。校則や委員会活動など、生徒会を中心に生徒が主体的に考え、企画し、運営できる生徒を育成する。			

重点的な取組事項－３		教師の指導力向上と信頼される学校作り			
A 今年度の成果目標		達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度

<p>教員の教育力（学習指導・生活指導・進路指導）の向上と信頼される学校作り</p>	<p>アンケートで、90%以上の保護者が「子どもを伊興中に入れてよかったと思う」と答える。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>			
<p>B 目標実現に向けた取組み</p>					
項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
<p>教員の学習指導力の向上</p>	<p>・分からないところを丁寧に教えてくれる」「生徒用タブレットをよく活用している」と80%以上の生徒が答える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員が年5回以上の授業研究に参加する。 ・校内研修日を年3回以上設定し、足立スタンダード授業や「主体的・対話的で深い学び」や「ICT活用」をテーマに研修し、授業力向上を目指す。 ・「ICT機器活用月間・週間」を設定し、組織的に活用を促進する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 20px; display: inline-block;">自己評価の際に記入</div>		
<p>教職員集団の育成と組織力の向上</p>	<p>・教育活動や対外的な対応に、保護者へのアンケートで80%以上が満足していると回答する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校務分掌の組織を分析し、より良い体制を構築する。 ・学校全体で共通理解を図りながら組織運営を行う。 ・管理職・主幹教諭・主任教諭による若手教師のOJTを計画的に実施する。 			
<p>保護者、開かれた学校づくり協議会、地域と協働した信頼される学校作りとの協働</p>	<p>・「学校は保護者や地域と一体になって教育活動を行っている」と保護者・開かれた学校づくり協議会委員の80%が回答する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA・開かれた学校づくり協議会と定期的に会議を持ち、学校と保護者・地域との連携を図る。 ・HPを常に更新して学校の情報を発信し、各種たよりを定期的に発行する。保護者会、教育相談、協議会を計画的に実施する。 			

6 まとめ

(1) 今年度の成果と次年度に向けた課題及び解決の方向性

(2) 保護者や地域へのメッセージ

(3) その他（学校教育活動全般について）

自己評価の際に記入します。

経営計画の策定段階では、このページは行数を減らして圧縮したり、ページ自体を削除したりした上で、公表していただいても差し支えありません。